

静岡県漁業協同組合連合会

984 静岡市追手町 9-18
14.3.8 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 県下沿海漁協 役員改選のお知らせ(続報)

御前崎漁協では、このほど任期満了に伴う役員改選が行われ、代表理事組合長に吉村長治氏(再)が、専務理事には澤入辰義氏(再)が夫々決定しました。

2. 資源回復計画で伊勢湾小型機船底びき網対象種を条件付きで承認

このほど開催された広域漁業調整委員会太平洋南部会で、資源回復計画対象魚種として、伊勢湾小型機船底びき網対象種が承認されましたが、一部漁業者の同意が得られていないことから、この同意が条件となっています。

計画案では、回復目標を当面5年間で全漁獲量に占めるトラフグ、マアナゴ、シャコの割合を25%から40%に増大させることとし、このためにトラフグでは小型魚当歳魚の1ヶ月間水揚禁止(全て再放流)や種苗放流の実施、アナゴでは全長制限の強化(25cm以下の水揚禁止、再放流)を図ることとしています。

また、漁具改良(再放流魚(小型魚)の生残率向上のためのシャワー装置導入)、冬季1ヶ月間程度の休漁期間の新設や休漁期間における海底清掃等の漁場環境改善を講じることが計画されています。

なお、本県が候補魚種として挙げたトラフグ(はえ縄)については、この計画の中で第2期に盛込まれており、今後検討することとなっています。

3. 「第2回焼津市海洋深層水フェア」開催

焼津市、焼津商工会議所では、このほど「第2回焼津市海洋深層水フェア」を焼津市文化センターにおいて開催しました。

このフェアは、深層水シンポジウムと海洋深層水関連展示に分かれ、シンポジウムの第1部では同商工会議所内の海洋深層水事業化部会の事業化ワーキンググループの研究発表として、水産関係で酒盗の仕込み、カツオ、サバ等の魚類解凍、サバフィーレの漬け込み、蒸しダコ製造の塩もみの4件のほか、豆腐製造や野菜の漬け込みなど計8件の研究成果が発表された後、これら研究開発された試作品の試食が行われました。

また、第2部では「ミネラルと人体」(講師：桜井弘京都薬科大学教授)、「深層水の特性と商品開発」(同：横山嘉人赤穂化成(株)開発担当取締役)と題した2つの基調講演に続いて、鈴木款静岡大学理学部教授をコーディネーターに、基調講演を行った2人の講師と高木邦明静岡県立大学薬学部助教授、法月吉郎(株)かしはる社長をパネリストとして、「深層水とミネラルと健康」をテーマに、パネルディスカッションが行われました。

海洋深層水関連展示では、焼津をはじめ県内の企業から、蒸しダコ、ツナ缶詰、酒盗、

アサリ佃煮、桜えびご飯、珍味イカのくち、マアジ干物、マグロかま等の水産食品のほかに、漬物、氷、水ようかん、豆腐、板こんにゃく、うどん、ラーメンなど各種の開発製品が展示され、会場には水産関係者をはじめ多くの市民が詰め掛け、海洋深層水への関心の高さがうかがえました。

4. 食料品の購買行動に関するアンケート調査結果発表

農林漁業金融公庫では、このほど景気低迷下における食料品の購買行動に関するアンケート調査結果を発表しました。

それによると、食料品を購入する時に重視することは、「安全・安心」が62.1%で最も高く、次いで「健康・栄養バランス・カロリー」が45.3%、「おいしさ」が41.2%、「値段」が37.1%の順で、年代別では40代以上の各階層で「安全・安心」を重視しているのに対し、30代以下では「値段」を重視する人が7割強を占めています。

利用頻度の多い店は「食品スーパー」が48.1%で最も高く、店を選ぶ基準で重視することは「品質がよいこと」が69.0%、次いで「食料品の品揃えがよいこと」が59.7%となっており、生鮮食料品で「国産品」を購入するとした解答者は「生鮮魚介」が70.6%で、「生鮮野菜」、「生鮮肉」が8割強を占めたほか、国産品が輸入品より「割高でも購入する」は全体で74.7%にも上りました。

また、食料費の支出を「抑えようと意識している」は70.4%で、特に支出を抑えている品目は「菓子」が最も多く、食料費の支出を抑えるための購買行動では、数量面で「鮮度がよいもの、賞味期限が長いものを選び無駄を出さない」の88.6%、価格面では「折り込み広告を見て特売品を購入」の71.9%が最も多く、食生活での工夫では「できるだけ手作り料理」、「賞味期限の近い食材から利用」などが8割強を占めています。

さらに、食料品の価格水準は「適当な水準」あるいは「安い」と思っている人が62.0%で、「高い」が38.0%となっており、食料品の価格の引下げについての要望では「流通を簡単にして価格を下げて欲しい」、「包装を簡単にして価格を下げて欲しい」が夫々6割強となっています。

5. 諸会議・日程(3月12日(火)~3月25日(月))

- 既報分省略 -

3月18日(月) 県漁連 = 養殖生産物安全対策検討会 (静岡市・クーポール会館)

3月19日(火) 海づくり大会県水産団体推進協議会 = 解散総会 (県水産会館)

〃 県漁連 = 温水センター運営協議会 (〃)

〃 県漁船海難救済基金協会 = 評議員会、理事会 (〃)

3月20日(水) 県漁業振興基金 = 評議員会(県水産会館)、理事会(静岡市・ブケ東海静岡)

3月22日(金) 県漁連 = 指導対策委員会 (県水産会館)

- お知らせ - 本紙 983(3/1)掲載の諸会議・日程の中で、県おさかな普及協議会の代表幹事会の日程が、3月20日(水)に変更されましたのでお知らせします。